

加圧給水方式に変更

◇改修工事の背景

30年を超えた老朽化した給水設備は、衛生面・設備の保守点検に問題が発生していた

◇給水方式の比較

- ・高架水槽方式… 市水をコンクリート受水槽に貯水しポンプで高架水槽まで引上げ、重力で供給
コンクリート受水槽と高架水槽で大量に貯水のため、水質保全が難しい
- ・加圧給水方式… 市水を樹脂製受水槽に貯水し、ポンプで加圧し直接各戸へ供給
貯水量が高架水槽方式の1/5になったので新鮮な水が供給できる

◇改修工事の概要

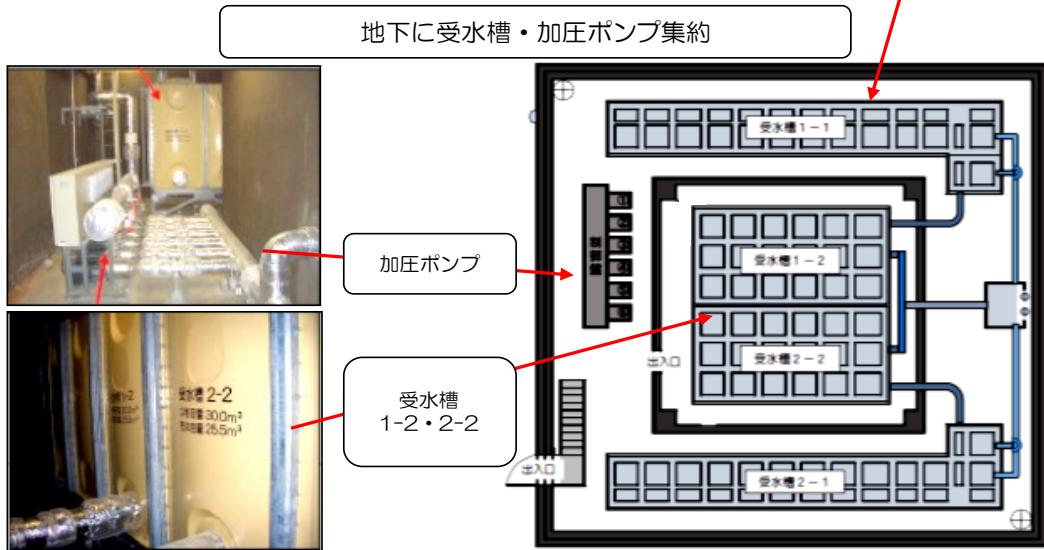
- ・工事期間：2007年9月～2008年3月

1)高架水槽の解体、撤去



2)高架水槽方式から加圧給水ポンプ方式に取替ました

既設コンクリート製受水槽室を利用し、受水槽・加圧ポンプを設置



3)2008年3月完成

高架水槽方式から加圧給水ポンプ方式に変更のメリット

- ①貯水量が1/5となり貯水の使用回転が速く、更に塩素消毒の必要が無くなり
水質も向上し新鮮な水を供給出来る
- ②コンクリート水槽、高架水槽に関するメンテナンスが無くなり
年間140万円の費用削減、電気料金も年間23万円の削減
- ③老朽化及び地震等での高さ40mの架台倒壊の危険が無くなった
- ④給水設備が地下に集約され、旧揚水ポンプ室を改造し防災倉庫・作業室として活用